

第二十七回帝國議會 院 蠶絲業法案委員會會議錄(速記)第六回

會議

明治四十四年三月一日午前十時四十四分開議

出席委員左ノ如シ

野田 卯太郎君 武藤 金吉君 翠川 鐵三君

築山 和一君 橋本 久太郎君 村上 先君

平島 松尾君 中島 祐八君 佐々木 文一君

高木 正年君 須藤 嘉吉君 關口 安太郎君

久保田與四郎君 吉植 庄一郎君 島田 保之助君

委員駒田十次郎君辭任ニ付昨二月二十八日其ノ補闕トシテ佐々木鐵太郎君ヲ

議長ニ於テ選舉セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農商務大臣 男爵大浦 兼武君

出席政府委員左ノ如シ

農商務次官 押川 則吉君 農商務省農務局長 下岡 忠治君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

蠶絲業法案

○委員長(野田卯太郎君) 開會ヲシマス、今日ハモウ討議ニ掛リマシテ決定スル積リ

デゴザイマスカラ、大體ニ付テ一通リシテ置キマシテ、之ヲ修正ニ掛ルカ掛ラヌカト云フコ

トヲ、先キニ決ヲ採リマスカラ……

○高木正年君 私ハ討論ノ前ニ政府カラ言明ヲ請ヒタイノデアリマス

○委員長(野田卯太郎君) 質問ハ十分シテ居リマセウ、ドウ云フ言明ヲ

○高木正年君 自家蠶種ノコトニ付テ政府ノ取扱方ニ付テ一言政府カラ言明ヲ欲シ

○委員長(野田卯太郎君) ツレハ修正ノ時宜シウゴザイマスカラ、此案ニ付テ修正

ニ掛ルカ掛ラヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○委員長(野田卯太郎君) 修正ニ掛ッテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○委員長(野田卯太郎君) 修正ニ取掛リマス

○武藤金吉君 私ハ此逐條デゴザイマセヌデ、全體ニ通シマシテノ修正ノ動議ヲ提出

シタウゴザイマス

○委員長(野田卯太郎君) チョット御相談シマス、實ハ總理大臣カラ——大藏大臣

ト云ウテ宜カラウカ金融ノコトニ付テ辯明ヲシテ貰フ積リニ諸君ノ建議ガアツモノデアリ

マスカラ、ソレデ少シ殘シテ置カナケレバ——「了ッテハ往カヌダラウナ

(翠川鐵三君「了ッテハ往カナイ」ト呼フ)

○委員長(野田卯太郎君) ツレハ此方カラ申シマセウ、附則デケラ殘シテサウシテ本

則デケラ議ニ付シマスカラ其積リテ修正ヲ願ヒマス

○武藤金吉君 ソレデハ修正箇條デケニ付キマシテ修正文ヲ讀ミマス、第十八條ヲ「主

務大臣又ハ地方長官必要ト認ムルトキハ原蠶種ノ製造若ハ其讓渡讓受又ハ原蠶種

ノ種類ヲ制限スルコトヲ得」トアリマス條項ノ中「又ハ地方長官」ヲ六字ヲ削リマス、ソレ

カラ別項ヲ斯様ニ修正ヲ致シマス「主務大臣ハ地方特別ノ狀況ニヨリ地方長官ヲシテ

前項ノ制限ヲナシムルコトヲ得」第十九條——十九條ノ冒頭ノ地方長官ノ頭ニ「主

務大臣」ヲ四字ヲ加ヘマス

(「地方長官ハ削ルノデスカ」ト呼フ者アリ)

○武藤金吉君 削リマス、第二十三條——二十三條ハ冒頭ニ「主務大臣及」ノ五字

ガ入リマス、ソレカラ第二十六條——二十六條ハ「蠶病豫防事務官」ノ下ニ「地方

ノ二字ガ入リマス」地方種蠶審査會」トナリマス、尙同條中ノ但書ニ「但國庫ハ其ノ

半額以內ヲ補助スルコトヲ得」トナリマス、次ハ第三十五條「當該官吏員ハ蠶病豫防

ニ關シ蠶種又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者ノ店舖倉庫製造場飼育場等ニ臨檢シ物品及帳

簿其他ノ書類ヲ調査シ又ハ必要ナル分量ニ限り無償ニテ物品ヲ收去スルコトヲ得」ソレ

カラ別項デゴザイマス「地方長官ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲

アリト認ムルトキハ當該官吏員ヲシテ前項ニ掲ケタル場所ニ臨檢シ犯罪嫌疑者若ハ參

考人ヲ尋問シ又ハ犯罪事實ヲ證明スヘキ物件帳簿書類ヲ調査シ若ハ之カ差押ヲ爲サ

シムルコトヲ得」臨檢尋問搜索又差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス」其

間ノ前二項ノ場合ニ於テ云々ト云フハ削除デゴザイマス、次ハ三十八條デゴザイマス、

三十八條ノ末項罰金ヲ「千圓」トアリマスノヲ「五百圓」ト云フコトニ修正二十九條ノ

「五百圓以下」ト云フノヲ「三百圓」ト修正致シマス、四十條ノ「三百圓」トアリマスノヲ

「二百圓」ト修正致シマス、ソレカラ四十二條修正ノ全文ヲ讀ミマス、四十二條ハ「第

三十五條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ若ハ妨ケタル者、又ハ臨檢ノ際當該官吏員

員ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲ササルモノハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス」次ハ四十四

條デゴザイマス、四十四條ノ「蠶種業者ハ其ノ代理人戶主家族同居者雇人其ノ他ノ

就業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ

指揮ニ出テサル故ヲ以テ其處罰ヲ免ル、コトヲ得ス」ト云フ其續デ但書ガ出來マス「但シ

相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニアラス」

○委員長(野田卯太郎君) 字句ハ委員長ニ任セテ貰ハウ

○武藤金吉君 附則ハ別ニ致シマスカラ是デケデゴザイマス、修正ノ箇條ハ是デケデゴ

ザイマス

○高木正年君 私モ此際一ツ便宜ノタメニ意見ヲ申シテ置キタイト思ヒマス、私ノハ

第十六條ノ但書デ「學術研究又ハ自家用ノ爲ニスル云々」トアル此箇條デゴザイマス、

今度ノ此蠶種統一ト云フ意味ニ於テ其改良ヲセラル、ト云フコトハ私共雙手ヲ舉ゲテ

賛成スルノデアリマス、我國ノ生絲ノ性質ガ世界ノ最良ノモノトハ實際申シ難イ、蠶種ヲ改良シテ之ヲ統一スルコト云フコトニ付テハ頗ル賛成ヲ表シテ居ルノデアリマスケレドモ、悲イカナ政府ノ施設ガ今日總テ要求ニ應ズルマデニ準備ガ整ウテ居ルハ云ヘナイ、言ハハ今日ハマダ試験時代デ、果シテ政府ガ原種ヲ製造シテ其原種ニ依ッテ造ラレタル原種デアルト良イモノガ出來テ、一般ノ蠶業ガ形ヲ變ヘルト云フコトニナルト云フコトハ、餘程ノ年月ヲ藉サネバナラス、是ハ決シテ無理デナイコトデアラウト思フノデス、多少ノ年月ヲ藉スト云フコトハ、是非蠶種統一ニ運ブキ道行デアル、相當ノ時間ヲ要スルコト云フコトハ無理ノナイ話デアラウト思フ、然ルニ直ニ蠶種改良及此統一ガ出來タ如ク今日カラ看做シテ、一般政府ノ原種ニ依ッテ製造シタモノヲ普及セシムルト云フコトヲ、今日ヨリ見越スト云フコトハ甚ダ早計ニ失シハシナイカト思ヒマス、元來言ヘバ此蠶種法ハ全體ヲ見渡シマシテ我國ノ一方ハ蠶種家ナルモノ、上ニ付テ、總テ猜疑ノ眼ヲ以テ見ルノガ蠶種法ノ缺點デアラウト思フ、又蠶種家ノ上ニ付テモ法ヲ犯シ法ニ隱レテ、豫防法ナドヲ實際シナイト見ルガ如キモノト考ヘテ作ラレタ法案ノ如ク吾々ニハ見ラレル、事實ニ於テハ決シテサウデナイ、元來蠶種ナルモノハ信用ヲ土臺トシテ先刻説明ノ中ニモアッタ如ク、少シノ罰金ヲ取ラレモ傷ガ附カラ左様ナコトハセヌデアアル、此自家用ノ蠶種ヲ造ル、即チ自分ノ家デ來年ノ蠶種ノ出來ノ宜イヤウニ運ブトコロノ種ニ、惡イ種ヲ遺スト云フコトハナイ筈デアアル、然ルニ強テ法令ノ中ニ自家用蠶種マデ取締ツテ、之ガタメニ種々ナル手數ヲ掛ケテ蠶種家ヲ困ラセルノミナラス、一朝若シ政府ノ原種ガ惡イヤウナコトガアッタナラバ、全國ヲ舉ゲテ蠶種上ノ一大饑饉ヲ來サヌトモ限ラヌデアリマス、ソレ故ニ先ツ當分ノ間自家用蠶種ハ手數ヲ掛ケズニ造ルコトガ出來ルト云フ範圍ニ置クガ、今日養蠶ノ平和ヲ保ツ上ニ於テ効果アリト思フ居リマス、尤モ但書ハ絶對ニ禁止スル譯デアアリマセヌガ、蝶サハ擇レバ宜シイデアリマスケレドモ、自家用蠶種ナドハ毎年屹度拵ヘルト云フコトデ、豫メ極メテ置クモノデハナイ、自分ノ家ノ蠶種ガ今年ハ格別ニ能ク出來タカラ此中カラ良イ種ヲ擇ッテ取ッたら、來年モ亦是以上ニ能ク出來ルデアラウト云フコトカラ、俄ニ思立ッテ蠶種ヲ取ルノガ多イデアリマス、所ガ此法ニ依ルト豫メ許可ヲ受ケテ置カケレバ蠶種ガ出來ナイ、從來蠶種業者ノ造リマス所ノ種ヲ擇リ方ト、自家用蠶種ノ繭ノ擇リ方トハ大變ニ違フ、蠶種家ノ方ハモトノ商賣デアリマスカラ、豫防法ハ十分實施スル上ニ付テモ繭ノ撰ジ方モ先ツ合格ノ物ヲ撰ブコトニナッテ居リマスガ、自家用蠶種ハ合格以上ノ最モ勝レタ物ヲ撰ブコトニナッテ居ルカラ、同ジ千個ノ中デモ一方ガ二十個撰ブモノナラバ、一方ハ五個撰ブト云フヤウニナルカラ、或點ニ於テハ自家用ガ良イ、此意味ニ於テ私ハ自家用蠶種ヲ當分ノ間取締ラヌコトニシテ欲シ、許可ヲ受ケテ置キタルコトニシテ欲シ、法文ノ修正ハ後ニシテ、意味ニ於テ此處デ發言ヲシテ置キマス、若シ強イテ法文ノ修正ヲ申セト仰セナレバ申マスガ、先ヅ意味ニ於テ諸君ノ御贊同ヲ得テ、幸ニ多數ヲ得レバ法文ハ作ッテモ宜シウゴザイマス

○久保田與四郎君 チョット私ハ委員長ニ御尋ラシタイノデスガ、條項ニ付テ修正スルノデ其場合ニ修正意見ヲ出シマセウカ、或ハ吾々ノ考ヘルトコロハ全體ニ付テ此點ガ修正ヲシタイト云フコトヲ今述ベマセウカ、餘リ長イ法文デスカラ實ハ順ヲ逐ッテ其條ニ往ッテ述ベルガ便利ト思ヒマスガ……

○委員長(野田卯太郎君) 簡明ニズラットヤッタガ宜イト思フ、附則ダケハ殘シテ置キマシテ……

○中島祐八君 私モ所見ヲ一言出シテ置キマスガ、ソレハ二十七條デアリマス、此手數料ヲ徵收スルコト云フコトハドウモ考ヘテ見テモハ甚ダ相當デナイト思フ、元來此蠶種検査ト云フヤウナコトハ國家ノ事業ニ屬スルコトデアリマスカラ、其費用ヲ個人カラ出サセルコトハ甚ダ不都合ナコト思フ、決シテハ各種屋ヲ庇護スル意味デアリマセヌ、故ニ私ハ此箇條ハ廢メテ法文デ申セバ斯ウ云フコトニナラウカト思フ、蠶種検査ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トス「斯様ナコトニ修正ヲ加ヘタイト思フ、要點ダケヲ申シテ置キマス」

(賛成ト呼フ者アリ)

○翠川鐵三君 私ハ武藤君ノ修正意見ニ付テ、贊否ヲ決スルニ先立ッテ二點バカリ主務大臣ガ御出席ニナリマシタカラ言明ヲ得テ置キタイ、ソレハ第二十三條デアリマス、此第二十三條「主務大臣又ハ地方長官ハ必要ニ應シ種蠶ノ審査及原蠶種ノ選定ヲ行ハシムル爲種蠶審査會ヲ設クヘシ」トアリマス、是ト關聯シタ十八條ノ第二項「主務大臣ハ地方特別ノ狀況ニヨリ地方長官ヲシテ前項ノ制限ヲ爲サシムルコトヲ得」トアリマス、此制限ヲ爲サシムル場合若クハ主務大臣自身ヲ制限ヲ爲スコトニ付テハ必ズシモ中央種蠶審査會ノ意見ヲ諮問スル事柄ノ手續ハ、常ニ之ヲ履行セラレル趣旨ト解釋シテ居リマスガ、果シテ右ノ手續ニ出ラレル意思カドウカ、此點ヲ明カニシテ置キタイ、ソレカラ今一ツ續イテ此二十六條ノ是二十七條ト關聯セル意思ヲ以テ御答ヲ願ヒタイ、二十七條ニ蠶種検査ニ對シテ手數料ヲ徵收スルコト云フコトヲ規定セラレ、同時ニ此費用ハ元來國庫支辨ニ屬スルヲ至當ナリト信ジマスガ、種々財政上ノ御都合モゴザイマセウカ故ニ、但書ヲ以テ「國庫ハ其半額以內ヲ補助スルコトヲ得」トアリマスガ、從來ノ例ニ依ルト國庫ハ僅ニ十萬圓ダケノ補助デアリマスガ、來ルベキ豫算ノ上ニ於テ國庫ハ其半額以內トアリマスケレドモ、少ナクモ其半額ヲ補助スルダケノ御決心ガアリマセウカドウカ、此二點ニ付テ一方手數料ヲ徵收スルコトヲ勵行スルト共ニ、國亦之ヲ從前ノ程度ニ置クコトハ甚ダ蠶業政策上相當ナル事柄デアアルマイカト思フ、少ナクモ進ンデ、國庫ハ其半額ヲ補助スル御決心ガアリマスルカ承ッテ置キタイ

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 唯今翠川君ノ御質問ノ第一ノ方ハ御意見通りト考ヘマス、第二ノ御尋ノ國庫ハ半額以內云々ト云フコトハ、是ハ勿論今マデ曩ニ答辯ヲ致シタコトモアルト覺エテ居リマスガ、政府ハ出來ルダケノコトハ斯ウ云フ蠶業ノ發達ニハヤリタイト云フコトハ山々デアリマスケレドモ、何分御承知ノ通りノ財政ノ困難ナル場合デアリマスカラ、之ヲ今茲ニ半額ヲ補助スルコトヲ言明スルコトハ到底出來ナイノデアリマス、ソレデ先以テ現今十萬圓ハドウシテモヤラナケレバナリマセヌガ、容易ニ其額ヲ増スコトハ出來ナイト云フコトヲ私ハ考ヘテ居リマス、併ナガラ是ハ財政ノ都合デアリマスカラ、若シ財政ニ餘裕ガアレバ蠶業ノ發達ニ向ケルコトハ勿論御同様ニ望ムトコロデアリマス、是ダケヲ御承知ヲ願ヒマス

○平島松尾君 私モ此贊否ヲ決スル前ニ一應確メテ置キタイコトガアリマス、此十三條ト二十三條ニ依ッテ、地方ニ於テ或ハ主務大臣ガ地方長官ヲシテ若クハ地方長官ガ必要ニ依ッテ原蠶種ノ選定ナリ或種蠶ノ制限ナリヲスルト云フ趣旨ニナッテ居ルノデアリ

マスガ、例ヘバ東北地方デ申シマス、福島縣ハ福島縣デ必要ニ依テ選定若クハ制限ヲスルコトニナリ、山形縣ハ山形縣ト云フコトニナリ、私田ハ秋田ト六縣銘々ニ其必要ニ依テ制限モ選定モ爲シ得ルト云フ趣旨ニナルヤウデアリマスガ、果シテサウ云フコトデアリマス、ト、東北全體ニ亙ッテ各々分析スレバ氣候ノ上カラモ違ヒマセウ、總デノ點カラ違ヒマセヌケレドモ、之ヲ縣毎ニ其選定ヲナシ制限ヲスルコトニナリマシタナラバ、大變窮屈ナモノトナリハシマイカ、マルデ六縣ノ共通ガ出來ナイヤウナコトニナリマシテハ、甚ダ窮屈ニナリハシマイカト思ヒマスガ、併シ又此審查會規則ノ方ヲ拜見シマス、十一條以下ニ於テ聯合審查ヲナス如キ規定ガアリマスカラ、此點カラ見マスレバ或ハ東北六縣ノ如キハ共同ニ出來ルヤウナ制限選定ガ出來ルヤウニモ見エマス、是ハ大關係ガアル事柄ト考マスカラ、此一切ノ運用ニ付テ今少シ明カナ御答辯ヲ得テ置キタイト思ヒマス

1. The first step is to identify the problem or question that needs to be answered. This involves understanding the context and the specific requirements of the task.

○政府委員(下岡忠治君) 唯今平島サンカラ御尋ノ點ハ、原則トシテハ主務大臣カ之ヲヤルト云フコトニナッテ、例外トシテハ主務大臣ハ地方特別ノ狀況ニ依リ地方長官ヲシテ前項ノ制限ヲ爲サシムル、斯ウ云フ立方ニナッテ居リマス、出來得ベクバ廣クヤリタイト云フコトハ、無論政府ノ望ムトコロデアリマスガ、頭カラ唯其區域ヲ極メテヤルト云フコトガ隨分困難ナ爲メニ、地方特別ノ狀況ニ依テハ縣毎ニヤルコトガ出來得ルゾト云フ立方ニ出來テ居リマスカラ、例ヘバ東北ナラ東北ガ全體ニ出來ル見込ガ付クナラバ、東北ガ全體デ之ヲヤラウト云フ考デアリマスケレドモ、ソコマデハ及バヌトキニ於キマシデハ、縣ダケデアサウ云フコトニ纏メテ認メマセヌト、急ニ種類ノ制限等ノ實行ガ出來ナイカラ、即チ地方特別ノ狀況ニ依テ或制限ハ主務大臣ガ地方長官ニ命ズルコトニナッテ居リマス、斯ウ云フ考ニナッテ必ラズ各縣ガ區々別々ニ事ヲ纏メルト云フコトハナイ積リデアリマス、今翠川サンカラノ大臣ニ對シテノ御尋ガアツタ通り、近クシテ似寄ッテ居ル縣ノモノハ成ベク地方相一致セシメテ、統一ト云フコトヲヤッテ行カネバナラヌト同ジク、例ヘバ福島山形兩方ヲ別々ニ種類ノ制限ヲスルヨリ、互ニ近クテ氣候風土ガ相似テ居ルモノナラバ、成ベク兩方ノ間ニ同一ノ立方ヲサセルヤウニ主務大臣ガ命ズル、斯ウ云フコトニ致シマスカラ、マルデ個々別々ノモノニナルコトハナイ積リデアリマス

[illegible]

○委員長(野田卯太郎君) 高木君ノ動議ニハ賛成者ガアリマスカ

○久保田與四郎君 贊成ガアリマス、此手數料廢止ト云フ何カ出マシタガ、是ハ餘程大切ナ問題ニナリマス、先刻來同僚諸君ノ御話等ヲ聽キマシテモ、政友會諸君ノ御修正ニナリマシタ半額以內検査費ヲ半額以內約五十万圓バカリ政府ヲシテ負擔セシムルト云フ御提案モアルカノ如ク承リマシタトコロガ唯今農商務大臣ノ御説明ニ依ルト、是マデモ幾回モアル、今後ニ於テモ改良發達ノ上ニ必要ナル時分ニハ出シタイケレドモ、財政ガ許サヌ時分ニハト云フヤウナコトヲ言ッテ、直ク融通ノ利クヤウナ御答辯ニナッテ居リマス、サウスルト手數料ヲ徴收スルカ知レナイガ、此問題ハ最モ大切ナ場合ニナッテ參リマシタノデアリマス、私ハ別ニ議論トシテハ既ニ農商務大臣ガ居ラレル以上ハ、大藏大臣ノ説明ヲ聽クベキ必要ハナイカノ如ク思フ、併ナガラ國庫ノ負擔ノ五十万圓以上モ掛ル問題デアリマスカラ、願クハ政友會ノ諸君ノ五十万圓位ハ政府ヲシテ出サシムルコトガ出來ルト云フ、政府ニ於テモツレ位ノ融通ヲスル方針デアルト云フコトヲ、手數料ニ付キマシテモ大ニ考慮ヲ要シナケレバナラヌ、私ハ此場合ニ於キマシテ他ノ多ク

必要ハナイ、殊ニ此

○委員長(野田卯太郎君) 幾ラニスルノデスカ、簡單ニ……

○久保田與四郎君 ツレハ先ニ申シマシタ簡單ニ略シマス、即チ罪ハ須ク輕クスベシ

(賛成々々「ト呼フ者アリ」)

○武藤金吉君 チョット政府委員ニ言明ヲ煩ハシタイト思ヒマス、此二十三條ノ試驗審査會ヲ設ケルニ就テ、審査會ノ規則モ拜見シマシタガ、中央ノ審査會ハ當委員會カラ修正ノ意見ガ出タノデアリマスガ、中央及地方ノ審査會ハ在來ノ審査會トカ委員會トカ云フモノハ大抵官七民三ニナッテ居リマスガ、今回ノハ官三民七ト云ノ標準ヲ以テ人材學者ヲ採ッテ組織シテ貫ヒタイト思ヒマス、此點ニ就テ言明ヲ願ヒタイ

○政府委員(押川則吉君) 唯今武藤君ノ御意見ハ御尤ナコトデアリマシテ、果シテ民七官三ニスルト明カニサウトハ御受ケハ出來マセヌガ、成ベク其趣意ニ依ッテ、是非民間ノ當業者ノ意見ヲ能ク參酌シテ行クヤウニ組織スル積リデアリマス

○委員長(野田卯太郎君) ツレハハ動議ノ順番ニ依ッテ採決致シマス、武藤君ノ修正動議ニ賛成者ハ起立

起立者 多數

○委員長(野田卯太郎君) 多數、武藤君ノ修正ニ外レテ居ルモノダケ更ニ決ヲ採リマス、高木君ノ動議ニ賛成者ハ起立

起立者 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數

起立者 少數

○委員長(野田卯太郎君) 少數、其他ハ原案ニ決シテ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○委員長(野田卯太郎君) ツレハハ本案ハ三讀會ヲ省イテ修正ノ外原案ニ決シマス、附則ダケハ殘シテ置キマス、是デ休憩シテ午後一時カラ開會致シマス

午前十一時二十七分休憩

午後一時三十二分開議

○委員長(野田卯太郎君) 午前二引續キ開會ヲ致シマス、附則ダケヲ議題ニ供シマス

○武藤金吉君 此附則ノ第五十二條ニ付キマシテ、修正意見ヲ提出致シマス「蠶種ノ冷藏ヲ業トスル者ハ」ノ下「命令ノ定ムル期間内」ヲ削リマシテ「本法ノ施行後一年ヲ限リ」ノ十一字ヲ加ヘルコトニ致シタイ

○委員長(野田卯太郎君) 御異議アリマセヌカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○委員長(野田卯太郎君) 他ニ修正ノ御意見ガアリマスカ

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○委員長(野田卯太郎君) ツレハハ此修正ヲ除ク外原案トシマシテ、武藤君ノ修正ハ成立シタモノト決定致シマス——餘ハ原案

(異議ナシ「ト呼フ者アリ」)

○武藤金吉君 此機會ニ於キマシテ前回ニ於キマシテ本會ノ決議ヲ以チマシテ蠶絲業ノ資金ニ付キマシテ、大藏大臣農商務大臣等ニ御交渉ヲ申上ゲマシタコトニ付キマシテ、此際政府當局ノ是ニ對スル言明ヲ承ッテ置キタイト思ヒマス

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 實ハ大藏大臣ハ宮中ニ止ムヲ得ザル要用デ、今折角出テ居ルトコロデゴザイマスカラ、私が茲ニ御答致サウト思ヒマス、此御質問ノ箇條ハ即チ蠶絲業者ニ向ッテ低利ノ資金ヲ如何ニ融通スルカト云フノ問題デゴザイマス、ツレハ現今蠶絲業ノ資金ノ問題ニ付キマシテハ、吾々モ深ク憂慮シテ居ルトコロノコトデアッデ、成ベク低利ノ資金ヲ融通致シタイト考ヘテ居ルトコロデゴザイマス、ソコデ今現在ノ蠶絲業現在ノ産業組合ニ向ッテツレニ資金ヲ融通シツ、アルトコロデゴザイマスカラ、尙此後産業組合ヲ作ルニ付キマシテハ、ツレニ對シテ成ルベク低利ノ資金ヲ融通致シタイト斯ウ考ヘテ居リマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

○武藤金吉君 尙此外ニ三箇條ノ政府ニ向ッテ註文ヲ致シテ、此際ヤハリ言明ヲ得テ置キタイト思フコトガアリマス、ツレハ一ツハ桑田ノ改良桑園ノ整理デアリマス、是ハ原蠶種製造所ノ設立ト共ニ蠶絲法ノ施行ニ付キマシテハ離ルベカラザル關係ヲ以テ居ルトコロデゴザイマスカラ、前回ノ數回ノ質問ニ於キマシテモ政府委員カラ御答モゴザイマシタケレドモ、尙更メテ桑田ノ改良桑園ノ整理ニ付キマシテ、政府ハ此蠶絲業法ノ施行ト共ニ原蠶種蠶種統一ノ目的ヲ遂行スル上ニ於キマシテ、銳意ヤッデ戴キタイト云フコトヲ望ムノデアリマス、モウ一ツハ政府ハ産業組合ノ成立ヲ勧誘ヲ致シマシテ、蠶種ノ共同購入

桑苗肥料ノ共同購入生繭ノ共同販賣、ツレカラ尙進シテハ稚蠶ノ共同飼育ト云フモノヲシテ、サウシテ此蠶種統一ノ目的ニ副フヤウニ銳意御盡力アランコトヲ切望致シマス、モウ一ツハ蠶病豫防法ノ施行並ニ蠶種検査ノ施行ニ關シマシテ、從來ノ蠶病豫防法ノ施行ニ付キマシテハ、往々法律ノ規定以外ニ官吏ノ横暴ヲ極メタリ、若クハ官吏ノ不正行為等モ往々アリマシタノデアリマス、今後ニ於キマシテモ此取締ヲ嚴重ニヤルト同時ニ、是等ノ弊害ト云フモノハ起ラヌトモ限ラナイ、是等ニ付キマシテハ人權ヲ尊重シテ此目的ニ副フヤウナ方針ヲ以テ、蠶病豫防法ノ施行ヲヤッテ戴キタイト云フコトガ、希望デアリマス、尙蠶種検査ノ施行ニ付キマシテハ、例ヘバ是ハ顯微鏡ノ検査バカリハ通りマシテモ、尙其他ニ肉眼で見マシタ時ニ随分不揃ヒナルトコロノ蠶種モ通ッテ居リマス、是ハ蠶種検査ノ規定ニ極メテアルカラシテ、其以外ニドウモスルコトハ出來ナイト云フヤウナ御考モアリマセウガ、先日政府委員ノ御持參ニナツタ種モ拜見シマシタガ、本員モ丁度同様ノモノヲ持ッテ來テ居リマスルガ、例ヘバ此種ハ無毒デアッテ全部「パス」シテ通ッテ居リマスケレドモ——顯微鏡試驗デハ合格シテ居リマシテ無毒デ差支ナイコトデアリマスガ、事實ノ上ニ於テ一方ノ梓ノ種ハ數百粒附イテ居ル、一方ハ數十粒附イテ居ル、而モ肉眼ノ上ニ於キマシテハ斯様ナ懸隔ノアルモノガ往々出來ルノデアリマス、是等ハ検査ノ施行ノ上ニ於キマシテ十分ニ御注意下スツデ、政府ハ法律ノ施行以外ニ於キマシテモ機宜ノ取扱ヲシテ、サウシテ蠶業獎勵ノ上ニ検査ヲ施行シ尙及フ限リノ手順ヲ盡シテ戴キタイト云フコトガ、本案ヲ議了スルニ當ッテ希望デアリマス、願クハ政府ニ於テ此際之ニ對シテ政府ノ所信ヲ言明シテ戴キタイ、又滿場ノ諸君ノ御同意ヲ得テ確メテ置キタイと思ヒマス

○政府委員(押川則吉君) 唯今武藤君カラ御希望ノ事ハ最も適切ナコトデアルト考ヘマス、此上爲スベキ事ハ十分注意致シ、又從來蠶病豫防等ニ付テ弊害ガアツタト云フコトニ付テハ甚ダ不都合デアリマスカラ、將來サウ云フコトノ無イヤウニ警戒致シタイと思ヒマス、其他ノコトモ精々注意致シテ御希望ニ應ズルヤウニ致シマス

○委員長(野田卯太郎君) 茲ニチヨット申上ゲテ置キマスガ、御承知ノ通り二十六條ノ「國庫ハ半額以內ノ補助ヲ爲スコトヲ得」ト云フモノハ從來ノ如ク十萬圓ト云フヤウナ輕少ナコトデ、之ヲ修正シタ精神デゴザイマセヌカラ、本當ニ半額ダケハ國庫ノ補助ヲ得ルツモリデ、本會ハ斯ノ如ク修正シタ譯デス、農商務大臣ニ於テモ此修正ニ同意セラルル以上ハ、其精神ヲ以テ內閣ニ於テモ本年カラデゴザイマセヌ、來年カラデゴザイマスカラ、御盡力アランコトヲ本會ヲ代表シテ請求シテ置キマス

○武藤金吉君 先刻是ハ決議ニナツテ居リマシタガ、二十三條ノ冒頭ニ「主務大臣又ハ」ト本員カラ修正説ヲ出シテ置キマシタガ、之ヲ主務大臣及「訂正ヲ致シタイ」と思ヒマス、御賛成ヲ願ヒマス

○委員長(野田卯太郎君) 其他ノコトモチヨットシタコトハ委員長ニ御委セテ願ヒマス——政府ハ此案ニ對シテ修正ニ御同意下サルデセウカ

○農商務大臣(男爵大浦兼武君) 本案ヲ大體ニ於テ御認メニナリマシタノハ頗ル満足ヲ表シマス、其他ノ修正ノ箇條ニ於テモ御同意致シタイト考ヘマス、且ツ唯今委員長ヨリ御述ノ國庫ノ半額補助云々ノコトハ、不幸ニシテ今日大藏大臣出席シテ居ナイノハ

甚ダ遺憾ニ思ヒマスガ、篤ト協議ヲ致シマス
○委員長(野田卯太郎君) ツレデハ本案ハ總テ決定シタモノトシテ決議シマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○委員長(野田卯太郎君) ツレデハ總テ決議致シマシタ字句ノ修正ハ、據所ナイコトハ委員長ニ御委セテ願ヒマス、ツレデハ本會ハ是デ閉ヂマス
午後一時四十四分散會

明治四十四年三月三日印刷

明治四十四年三月四日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局